

第54回 全国社会人サッカー選手権 東北予選会 実施要項

- 1 名称 第54回 全国社会人サッカー選手権大会 東北予選会
- 2 主催 一般社団法人東北サッカー協会 東北社会人サッカー連盟
- 3 主管 公益社団法人岩手県サッカー協会 岩手県社会人サッカー連盟
- 4 期日 平成30年7月28日(土)～30日(月)
- 5 協力 (株) モルテン
- 6 会場 岩手県／盛岡市・奥州市・紫波町
 - (A)盛岡市「いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場) A」
 - (B) 〃 「いわぎんスタジアム(盛岡南公園球技場) B」
 - (C)奥州市「ふれあいの丘公園多目的広場A」
 - (D) 〃 「ふれあいの丘公園多目的広場B」
 - (E)紫波町「岩手県フットボールセンター」
- 7 参加資格 公益財団法人日本サッカー協会(以下、日本協会という)及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟に登録された、第1種(準加盟を含む)のチーム(但し、J1リーグ、J2リーグ、J3リーグ、JFL、大学連盟、高専連盟に加盟したチームは除く)であって、次の資格を有するチームに限る。
 - ① 本年度、日本協会に加盟登録料及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟費を納入済みのチームであること。
 - ② 各県の予選会の結果、代表権を得たチームであること。
 - ③ 東北社会人サッカーリーグ、1部リーグ加盟の10チーム。
 - ④ 参加選手は他チームと二重登録されていないこと。
 - ⑤ 外国籍選手は、1チーム3名までエントリーすることができる。(準加盟チームは除く)(同一試合に同時に出場することもできる。)
 - ⑥ 日本協会発行の「監督証」、「選手証」を必ず持参し、大会本部で毎試合ごとに確認を受ける。
 - ⑦ 日本協会より「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手の移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることが出来る。第1種・シニアの年代の選手は適用対象外とする。
 - ⑧ 予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することは出来ない。
- 8 参加人員 参加申込みが出来る人員は、各チーム役員6名、選手16名以上25名以下とする。監督が選手として出場しようとする場合は、選手に含まれていなければならない。なお、参加申込後の選手エントリー・背番号の変更は所定の選手登録変更届を提出した場合にのみ認める。(変更がある場合は、大会前日までに事務局にメールで提出のこと。)
- 9 試合方法 ① 平成30年度日本協会制定の「サッカー競技規則」による。
試合の前後半及び延長を通じて必要あるときは5名に限り、他の選手

と交代することができる。この交代選手は、参加申込書に登録されている選手で試合前に交代要員として記載提出した 7 名の中からとする。

- ② 本大会中、退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できない。その後の処置については大会規律フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会中、通算 2 回の警告を受けた場合は、次の 1 試合の出場を停止する。
- ④ 本大会中に受けた、退場及び警告累積による出場停止処分は、同一競技会における直近の試合に適用されるものとする。但し、同一競技会において消化しきれなかった場合、残存の出場停止処分は、退場にかかわるものは当該チームが出場する直近の公式試合において、その処分を消化するものとする。警告累積によるものは、本大会終了時で消滅する。
- ⑤ 試合はトーナメント方式とする。
- ⑥ 試合時間は 80 分とし、1 回戦及び 2 回戦は勝敗が決しない場合は PK 方式により次回戦進出チームを決定する。3 回戦（代表決定戦）は勝敗が決しない場合は 20 分（前・後半 10 分）の延長戦を実施し、なお決しないときは PK 方式により代表チームを決定する。
 - ・ハーフタイムのインターバル：10 分間（前半終了から後半開始まで）
 - ・延長戦に入る前のインターバル：3 分
 - ・PK 方式に入る前のインターバル：1 分
- ⑦ 延長があった場合、以降の試合開始時間を繰り下げることがある。
- ⑧ ベンチは大会本部よりグラウンドに向かって、若い番号のチームを左側とする。
- ⑨ テクニカルエリア：設置する。
- ⑩ ベンチに入ることのできる人数：13 名（交代要員 7 名、役員 6 名）
- ⑪ 第 4 の審判員：任命する。
- ⑫ アディショナルタイムの表示：表示する。
- ⑬ 競技者の負傷を確かめるために入場を許される役員の数：2 名
- ⑭ 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- ⑮ 試合前のピッチ内アップの時間は、会場の規定によるものとし、マッチコーディネーションミーティングにおいて指示をする。
- ⑯ チームが試合開始時刻に遅れた場合は、いかなる理由があろうとも不戦敗扱いになる。

10 ユニフォーム：本大会実施年度の日本協会「ユニフォーム規程」による。但し、以下の項目については特に本大会用として規定を定める。

- ① ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）は、正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。（FP・GK 用共）
シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。
- ② 選手番号は服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄等で明確な識別

が困難な時には、台紙をつける)で、必ず参加申込書に登録した選手番号を付けること。

ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

- ③ ユニフォームへの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- ④ ユニフォームに他のチーム(各国代表・プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- ⑤ ストッキング(ソックス)の上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合は、そのテープの色はストッキング(ソックス)の主たる色と同じものに限る。

- 11 組み合わせ 2月11日、岩手県奥州市で開催された、平成30年第1回東北1種委員会・社会人サッカー連盟委員会で決定済み。(別紙のとおり。)
なお、10月19日(金)~24日(水)茨城県鹿嶋市等で開催される第54回全国社会人サッカー選手権大会(第74回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会)へは、代表決定戦を勝利した2チームが出場する。

- 12 参加申込 別紙、参加申込書に所定事項を記入し、所属県サッカー協会へメールで送信ください。メールを受けた所属県サッカー協会は確認の上、公益社団法人岩手県サッカー協会へ送付してください。
また、同封のプライバシーポリシー同意書に必要事項を記載し下記宛に郵送すること。

① 申込締切日：平成30年7月10日(火)必着

② 申込書郵送先：〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-1-1
公益社団法人 岩手県サッカー協会事務局 宛
TEL：019-681-8010
FAX：019-681-8012

③ 参加料として35,000円を銀行振込にて納入すること。

振込先：大船渡市農業協同組合 本店 (普通) 0000188

口座名義：公益社団法人岩手県サッカー協会1種委員長 及川 協一

※ チーム名を必ず最初に明記のこと。

- 13 監督会議 監督会議は行わない。(平成21年度の大会より)

- 14 宿泊等 宿泊・弁当の申込みについては、各チームにて手配願います。

- 15 競技上の注意事項

① 試合開始70分前までにチームの代表者は、メンバー提出用紙、監督証・登録選手一覧表(写真を貼り付けたもの)電子選手証の写しを各会場の大会本部に提出すること。電子選手証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認めるもの

とする。なお、メンバー提出用紙のユニフォーム欄には記入しないで提出のこと。マッチコーディネーションミーティングで決定後に記入します。

- ② 試合開始 60 分前に各試合会場の大会本部において、両チームの監督・マッチコミッショナー・審判団・会場運営責任者の出席によりマッチコーディネーションミーティングを開催する。
チーム代表者は、フィールド及びゴールキーパーユニフォームの正・副を持参すること。（ユニフォーム規定にもとづいた物で参加申込書に記載した正・副 2 組のシャツ・ショーツ・ストッキングを持参する。）
- ③ 気象状況による、WBGT(熱中症指数)により飲水時間又はクーリングブレイクの実施について
・ 試合当日の気象状況により、WBGT(熱中症指数)=28℃以上に達した場合、飲水時間を設ける又は WBGT=31℃以上の場合は、クーリングブレイク(3分)を設けることを両チーム、審判団、マッチコミッショナーと協議し決定する。
- ④ 競技者は、キックオフの 7 分前に本部前に集合して、審判員より用具の点検を受ける。装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- ⑤ 戦術的指示は、テクニカルエリア内から、その都度ただ 1 人の役員が伝える事ができる。必要な場合は通訳の同行が認められる。（通訳はベンチ入り役員を含む。）
- ⑥ 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2 名
- ⑦ 交替によって退く競技者は、主審の承認を得た後、近くの境界線からピッチの外に出る。交替要員は、退く競技者がピッチの外に出た後、試合の停止中に主審の承諾を得てハーフウェイラインの所よりピッチに入る。
- ⑧ 競技者の試合中の飲水は、ボールがアウトオブプレー中にタッチラインとゴールライン上において認められる。
- ⑨ 交替要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてピッチ上の競技者と異なる色のビブス着用で、ボールを使用しないで行う。
- ⑩ PK 方式が行われる場合は、キャプテンは監督の指示を受ける為に、1 分程度自分のベンチ前へ行くことができるが、フィールドの外へ出ることは認められない。
- ⑪ ベンチに入る事ができるのは、試合開始前に届けられた役員 6 名、交替要員最大 7 名の 13 名に限られる。（交替要員はビブスを着用のこと）

15 その他

疑問、不測の事態等が生じた場合には、各会場の競技委員の指示に従ってください。

【大会に関する問い合わせ先】

〒023-0822

岩手県奥州市水沢東中通り 1-1-13 シチズンスポーツ奥州クラブハウス内

岩手県社会人サッカー連盟

委員長 及川 協一

TEL : 0197-22-2564

FAX : 0197-22-2564

携帯 : 090-7931-4191

E-mail : jkjk0230@yahoo.co.jp